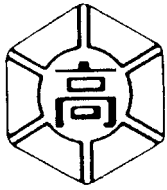


東京都立東高等学校



東志会会報

発行所

東京都立東高等学校
同 窓 会

〒135-0004

東京都江東区森下 3-6-9

トミヤコーポ301

FAX 03-3632-5693

沖 野 博 久

編集・印刷

株式会社旭出版

東志会の四十周年行事に向けて



東志会会長 丹 治 豊 明

(二期生)

都立東高校同窓会「東志会」の会員の皆様には益々ご清祥でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて皆様もご存じと思いますが、我が母校東高校の創立四十周年行事が四年前に執り行われました。それは、我が東志会も昨年、発足以来満四十年を迎えたこととなります。そこで、昨年東志会の四十周年記念の会を行いたいと考えていましたが、前会長中川茂昭氏がやむをえない事情により会長を辞されました。そのため新たな会長のもとで周年の会と願い、様々な方に会長をお願いしたのですが、どうしても決まりませんでした。

四十周年記念の会に拘るのは、これまで同窓会の大きな仕事の一つである名簿発行が困難な現状(個人情報

保護という社会的状況により)となり、会員の皆様との連携もなかなか難しくなってくるのが予想されるからです。

しかし同窓会として、これからの東志会の方向性や会員の皆様同士の繋がりを更に続けていくには、どうしても四十周年記念の会を実施して、会員の皆様に多くのご意見を頂くことが必要だと考えるのです。これを実行するには、母校やそれに関わる組織(P.T.A東会や東友会等)との連携のために、どうしても会長が必要であることで、副会長であり会長代行を務めさせていただいた私が、会長を引き受けることであると考えました。

お引き受けした以上は微力ながらも、役員の方々の協力を得ながら、

東志会の運営、更に四十周年記念の会の計画を進めていくことだと考えています。

しかしこれだけの事を、我々現役員だけでは十分に行うことはできません。多くの会員の方々のご協力、ご支援が必要です。どんなことでも結構ですので、ご協力できる方を募っています。

また今年度は、我々の先輩である一期生の方々にとっては還暦を迎えられるめでたい年でもあります。更に母校の各期の先生方からは、東志会四十周年記念の会へのご出席や、会報へのご意見などが数多く寄せられています。そこで会員の皆様にも記念の会への出席を大いに期待し、今回は全会員の方々に会報を送りました。

最後に、東志会の今後のさらなる活動として、開設しているホームページの有効活用、母校への援助や文化祭の参加による現役生や地域の方などとの交流、会報の充実などを進めていく所存です。

そしてこれらの活動を進めるには、会員の皆様のご理解、ご協力を頂くことが必要不可欠でもあり、これからも東志会へのご支援をよろしくお願い致します。

同窓会40周年を祝う



校長 藤 坂 健 司

同窓会40周年を迎え、同窓生の皆様にお祝いを申し上げます。

私は永年勤続表彰を受けたとき、なぜ表彰されるのか考えてしまいました。昨今の高校再編や転職、リストラという変化が当然の時代、何事もなく長く勤めることはそれだけで組織への貢献になっているということに気づきました。学校も同じなのだと感じています。学校が長く存続することは同窓生、保護者のみならず、地域社会やもつと大きいわが国や世界にも有為な人材を送り出していることで、大きな貢献をしていることになるのです。同窓生は40年もの間、絶えることなく社会に出て活躍してきました。それだけでもすばらしいことだと思っております。

私は、初任の学校が墨田川高等学校校定時制でした。その時、昭和50年代半ばに3年半ほど本校全日制で兼務講師をしていました。地理の斎藤昌二先生が墨田川高校の教頭に昇任された後を受けるように言われてしばらく授業をしていました。創立

後10年程度だったかと思いますが、校舎はさほどではありませんが、中庭などは地盤沈下の影響で波打っていました。生徒は明るく元気でとても気分の良い数年間でした。ちなみに、斎藤先生は数年後、淵江高校の校長になられて私を淵江高校に転勤させてくれました。私も思えば同窓生のような気分を感じています。

本校は、今年度から大きな変革を行って、今後ともこの地域に欠かさない高等学校として存続していく試みを行っております。進学実績の向上や部活動の強化を中心としたものですが、全国大会出場の実績、東日本大会出場の弓道部など多くの部活動が活発に活動しております。まだ結果は出ておりませんが弓道部を国体強化部活動に申請しております。また、吹奏楽部にプロのコーチを招聘する予定です。皆さんの後輩の活躍に期待してください。

これからも皆様のご支援を受けて、学校運営をしてまいりますので、よろしく願います。

ラグビー部新年会の様子

ラグビー部顧問

松崎 浩史



1月4日、東高校ラグビー部のエナメルバックを抱えたOBらが、続々とグラウンドに集まってくる。「チーす!」(全員で)「チーす!!」ラグビー部では、部員の誰かがOBを見かけると、他の部員たちも挨拶する習わしがある。この挨拶が1年の間で一番多く聞かれる日でもある。ラグビー部はこの日を伝統的に『新年会』としている。別名、『初蹴り会』とも言う。前任のラグビー部顧問でいらした涌井徳司先生が18年前、東高校に着任して始められたそうだ。現役部員だけでは淋しい活動を、OBや保護者が全面的に協力して盛り上げるための会であり、ラグビーだけでは面白くないと思われなように続けてきたと伺っている。私も東に異動してきて今回で4回目となった。グラウンドでは、寒風が吹き荒れる中、

30名ほどのOBが交代で胸を貸し、現役部員たちが果敢に挑む形でゲームを行う。グラウンドの外でも、現役部員の保護者を中心となり、OBの保護者までもたくさん集まり、食堂で調理をし、試合後に部員やOBらに豪華なご馳走を振る舞ってくださる。今年は、豚汁・焼きそば・フランクフルト・おにぎり・お菓子やジュースなど、食べきれないほど用意していただいた。昨年は、杵と臼を使って盛大に餅つきまでしたり、もっと前は、焚き火をしながら大きな鉄板でバーベキューをしたこともある。年々、屋外での調理を縮小せざるを得ない事情もあるが、毎年こうした保護者の献身的な協力には頭があらない。

初蹴り会は、正月早々で、保護者にとつて大きな負担であることは承知しているが、顧問としてたいへん有り難く思っている。前任の涌井先生も考えていらつしゃったと思うが、こうしたラグビーを通じた「繋がり」を大切にしたいと思っている。痛い、激しい、きつい中にも、ちょっとしたおもしろさや楽しみがあつたらいい。ラグビー界では、国際的な試合後は勿論、対抗戦など大学の試合後には必ずアフターマッチファンクションといって、一杯かわす慣習がある。これこそ正にノースサイドの精神。部員たちの交流、応援してくださる保護者の交流、私は、こうした「繋がり」を大事にし、部員たちが強く逞しく成長してくれることを期待している。何かと至らない顧問ではありますが、今後ともラグビー部のためにご協力・ご支援よろしく願います。

『文化祭 考』

三期 清水 千恵

「東志会って何ですか？入っているのかしら？」と、不思議がられた私達の教室も早7年。

今は「東志会で待ち合わせね」と言われる迄になり、来場者も

200名を超える。展示の一番人気は卒業アルバム。身近な兄弟や親、部活の先輩やあこがれの君など、写真を前に歓声がある。力作は本年度卒業生の展示。本年は部活取材がテーマ

だった。何をやるのかわからな

いままに委員となり、初顔合わせで文化祭の展示担当を知り、めんどろなあとと思ったかもしれない。我、東志会としてはこ

こを起点に、いつしか又委員として…と思うので、つい力が入る。忙しい中、夏休みに取材し

まとめた。丁寧なまとめられた展示は、東高を目指す中学生や保護者の方達にぜひ見て欲しい生徒の側から見た部活取材である。前日の準備でも活躍、若さ

とパワーをうらやましく思った。当日は専門学校に通うメンバー特製のクッキーも登場。またた

く間にうりきれた。そしてこの委員のメンバーの声かけで後輩や同期も数多く集まった。

好評になりつつある手作りコーナー。今年は手作りハガキと手編みだった。少々時間が

なかったが、うれしいマイ作品となった。

気になるのは活躍する同窓生の紹介。すでにお馴染みのナポレオンの植木さんをはじめとして何人か代表して展示。さすがはまだまだいるかもしれない。

私が運営委員になるキツカケを作ってくれた中川さんも、絵本作家であり、世界を舞台に活躍する切り絵作家である。泣いたり笑ったり、ぶつかったりへこ

んだりの高校時代。熟成させた種は時間をかけて花を開く。違う花だからこそ時を経ての出会いがなつかしく楽しい。母校の応援と共に東志会はそんな出会いの場でもあると思う。

毎年秋の文化祭、来てみませんか!!

演 劇 部

全国高校演劇大会出場

演劇部顧問
塚田いづみ

8月8日～10日、演劇部は群馬県桐生市で開催された全国高校演劇大会で、『羊のお水 さようなら』（前原麻希・三輪忍作）を上演し、優良賞をいただいて参りました。関東大会とは大幅にキャストを替えての上演でしたが、部員達は大舞台に臆することなく堂々と演じてくれました。この度は皆様方より多大なご支援をいただきました。現役部員の宿泊費のみならず、現役を指導してくれた卒業生の交通費・宿泊費までも、いただきました御厚志で賄うことができました。演劇部一同、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



弓 道 部

弓道部顧問 柏木 浩之

東高校弓道部は、3年生が引退し、現在1・2年生30名が狭い道場で毎日稽古に励んでおり、その中で3名の女子部員が国体のジュニア候補選手として選ばれ、強化練習に励んでいます。

ここ最近の大会で、男子は8月の都個人選手権で5位に入賞、東京都の代表として2年連続で関東大会に出場し、準決勝まで進むことができました。(昨年は予選敗退)

女子は、学年別大会、関東大会予選、インターハイ予選と、団体ではいずれも決勝トーナメント（ベスト8）まで進みながら今一步のところで涙を吞んできましたが、10月に行われた都秋季大会で団体、個人ともに準優勝し、12月25日～26日に神奈川県横須賀市で行われる東日本大会に東京都の代表として出場することになり、先日、部内の選考会で2年生5名、1年生2名が代表選手に決定しました。

東の子供達全体に言えることですが、メンタル面が弱く、本番で実力を発揮できないことが多いので、大会当日は、伸び伸びと持ち味を出して悔いの残らないように戦ってほしいと思います。是非、応援して下さい。



東志会40周年

東京都立東高校同窓会(東志会)発足40周年記念式典及び東志会総会

思い出は色褪せない...

共に学び、遊び、スポーツに励んだあの頃...

嬉しい時も、悲しい時も、一緒に笑い、悩んでくれた友達!そして、先輩、後輩達。

なによりも、厳しい中にも温かく見守ってくれた、恩師の先生方。

多くの時を重ねたけれど、顔を合わせれば、きっとあの頃の仲間に戻って笑いあえる!

そんな素敵なお1日にしたいのです!

ご挨拶

桜の春を待つ季節、東志会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍の事とお慶び申し上げます。

さて、私たちの母校、東京都立東高等学校も、平成十七年に「創立四十周年」を送り、盛大な記念式典を執り行いました。そして、その東高校の卒業生である私たち「東志会」も、四十年という歴史を刻んでいます。

本来であれば昨年に「記念式典」を開催すべきでしたが、東志会発足以来、初めてとでも言うべき大きなイベントなので、「せっかくだから、より多くの方々に集まってもらおう!」という事で、十分な準備を整え、一年遅れの本年六月に開催する運びとなりました。

この会報が皆様のお手元に届く頃には、準備も着々と進んでいる予定ですが、まだまだ準備委員の手が足りない状況です。この記念式典に一人でも多くの方に出席頂きたいのはもちろんですが、それだけではなく、実行・準備委員としてお手伝い頂ける方、そして当日のお手伝いをしていただける方を、心よりお待ちしております。

クラス会やOB会、同期会などでは会えないような顔ぶれが揃う「同窓会」の総会です。皆様のお力添えで是非、楽しく思い出深い一日を演出していただきたい、切にお願い申し上げます。

「東志会四十周年記念式典」実行委員長

本郷秀昭(十二期)



〔開催要綱〕

日時：平成21年6月28日(日曜)

〔午後1時〕 受付開始

〔午後1時半〕 開会

〔午後4時〕 閉会予定

場所：ホテルルートイン東京東陽町
(東京都江東区東陽2-3-12)

※地図参照

※遠方よりお越しの方には、宿泊の手続きもさせていただきます。

事務局までお問い合わせ下さい。

会費：(1期～35期) ￥6,000

(36期以降) ￥3,000

立食パーティー形式

※ひと休みできるお席もご用意しています。

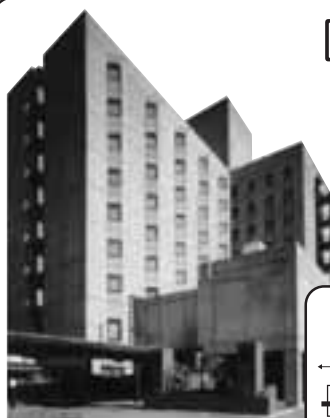
アトラクション

●チーム東の方々による「ヨサコイソーラン」披露

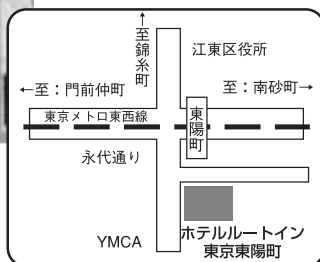
●OB、OG(東志会会員)によるバンド演奏

●懐かしの“スライドショー”上映

※この他にも、アトラクションに参加していただける方、事務局までご連絡下さい。



東京メトロ東西線
東陽町駅2番出口より
徒歩2分



◆参加申し込み方法

本誌6ページの「申し込みハガキ」にご記入・ご投函の上、本会報に同封の「振り込み用紙」にて会費をお振り込み下さい。(4月末日までに申し込み下さい)
尚、会費は当日会場でもお支払い頂けます。

「東志会40周年記念式典」にご協力頂ける方を募っています。

40周年記念式典の準備・実行、当日の受け付けなど、ご協力頂ける方は、是非ご連絡下さい。

連絡先(事務局)→レストラン・ノッチョリーノ(2期・沖野) TEL:03-3634-1248 FAX03-3632-5693

また、東志会から連絡が取れなくなっている方も多数いらっしゃいます。お友達、お知り合いの方にもご出席のお声をかけて下さい。

東志会40周年にあたり、多くの先生方から寄稿やメッセージをいただきました。
ご出席頂ける先生、今回は残念ながらご出席頂けない先生、本当にありがとうございました。

ご了承を得て、ここに掲載させていただいた先生方以外にも、誌面の関係で掲載できなかったメッセージもたくさん頂戴しております。

(順不同・敬称略)



思い出

坂本元五郎 (昭和四十八・五十二・平成六・七)

私は、一九七三年 (昭和四十八年) 四月から五年間、理科の教員として、また一九九四年 (平成六年) 四月から二年間、教頭として東高校にお世話になりました。同じ高校に二度も勤務できることは非常に希な事で、そのご縁に感謝しております。

初めて東高校に赴任してから約三十六年の時が流れております。その当時、一緒に勉強や部活動などで過ごした皆さんも五十歳前後になるのでしょうか。この度、東志会四十周年記念式典が計画されている事を知りまして、とても懐かしく思うとともに、嬉しく思いました。

東高校は、私の二十代を過ごした教員としての青春時代でした。自分の持っている全てのエネルギーや時間などを生徒の皆さんと一緒に過ごした思い出の多い、教員として大変に恵まれた幸せな時期でした。生徒の皆さんとやれることは、何でも楽しく充実感がありました。

ここでは、担任、理科教員、顧問などを通しての沢山の思い出の中からいくつかを述べてみます。私が初めて赴任した頃は、四月に九十九里の国民宿舎で一年生全員の合同H R 合宿があり、クラスの話し合い、レクなどがありましたが、朝の潮風を受けての砂浜のジョギングがとてもしが残っております。夏には蔵王林間学校があり、高山植物の女王、小さなコマクサの可憐な花に感動しました。学校行事のマラソン大会、体育祭では、生徒の皆さんと一緒に走るのが毎年の楽しみでした。生物部の夏の鬼怒沼合宿で観る美しい高層湿原の植物が魅力的でした。また、バスを貸し切り、磯の観察会に行ったことも楽しい思い出です。陸上部の皆さんとは、ソフト部と合同の武尊の合宿で一緒に走って汗を流した事が懐かしいです。一方、葛西や津田沼の下宿に多くの生徒さんが、よく遊びに来てくれたこともとても懐かしい思い出です。教頭として勤務した時は、思い出多い校舎の解体とプレハブ校舎での生活で、新校舎を造ることに専念しました。

現在は、北里大学 (海洋生命科学部) の教職課程 (中・高校理科) で学んでいる学生さんと一緒に勉強しております。再び教壇に立てた事に無量の幸せを感じています。

四十周年記念式典で、多くの卒業生の方々が一堂に会して語り合える事を期待しております。



東高校1回生から16年間接しておりますので、懐かしく忘れ得ません。私は今のところ健康に恵まれていますので、週一でテニスやスキーを楽しんでいます。皆さんとお会い出来ることを楽しみにしています。

◎内藤 伸 (S.41~S.56)

全日制ができて2年目に赴任しました。横川橋の校舎で1年、東砂の校舎で5年、生物を担当しました。カエルの解剖、ショウジョウバエの交配実験、荒川の水質調査など、覚えている人達もいるでしょう。発展した東高校をよこんでいます。

★彦坂 滋春 (S.41~S.46)

東高校をふりだしに、都立日比谷高等学校長で退職し、現在、財団法人日本修学旅行協会理事長として教育旅行の振興につとめています。東高生の活躍を祈ります。

◎河上 一雄 (S.43~S.47)

元気です。
東志会の弥栄を祈る！

★稲葉 重雄 (S.40~S.52)

寺の住職をしています。
懐かしい方々に会えるのを楽しみにしています。

◎酒井 義博 (S.41~S.46)

後期高齢者となりましたが元気で地域の50歳以上を対象とした、シニアが家にこもらず外に出て活動できるようにボランティア活動をしています。月に数回、大学で動き回ったり、福祉センターで老人の相手をしたりで、月のうち25日は外に出ています。

◎岩城 勲 (S.41~S.54)

東志会40周年おめでとうございます。東京都を退職して10年になり、次第に東京への足も遠のいていましたが、元気にのんびり過ごしています。懐かしい卒業生の皆さんに会えるのが、今から楽しみです。

◎井平 耕作 (S.41~S.49)

昔話を書くに尽きません。

1・4期生の担任、当時新設の軟式野球部の監督に、豊田一男先生の後任となり、都大会優勝、全国大会では銚子商を破り、浜田高に敗れるも国体代表にもなりました。又、卓球部顧問として都シード選手が出るなど楽しい教師生活を送りました。1期生3年担任時は理数クラスを担当。猛烈な受験指導などを実施し、国立現役7名、浪人4名の11名が合格しています。今まで同窓会は必ず出席していましたが、不治の病にかり、外出できず、残念でなりません。

★菊地 文次 (S.40~S.52)

ご無沙汰しています。東高校では3年間の勤務でしたが、担任をさせていただき、下町の良さを感じられた学校でした。私は本年3月で嘱託を終える予定です。

★長峰 重久 (S.53~S.55)

私は東高校が出来立ての頃、4年間教壇に立ち、又、水泳部の顧問として夏合宿で館山へも行きました。学校生活も、クラブ合宿も、思い出深い事が沢山あります。当時の生徒さん達は、とても一生懸命に勉強し、私もやり甲斐がありました。学校、そして同窓会のますますの発展を心からお祈りしております。

★刀根 雅江 (S.47~S.50)

東志会40周年、おめでとうございます。年末を迎え、庭木や菜園の整理に追われる毎日ですが、時には散歩に出たりして、元気に過ごしております。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

◎森 良多 (S.40~S.45)

7年前に和歌山大学を定年で退職し、その後私学の関西医療大学に勤めました。今は72歳で公職からは殆ど退き、気ままな毎日を過ごしております。

★松岡 勇二 (S.41~S.42)

東・両国・葛商・駒場そして今、田園調布高に居りますが、1981~88年までの東高校が常に原点です。旧職員に声をかけて参加させていただき

ます。
◎坂本 昇 (S.56~S.62)

私が勤務した昭和46、7年頃は、LL教室が設置され、教育課程研究実験校とかで英語科は落合先生 (物故) を中心に、夜遅くまで学校にいたことを思い出します。ご盛会を祈ります。

★八木岡 洋吉 (S.46~S.54)

※お名前の前に◎印の先生は、今回ご出席頂ける予定です。

★印の先生は、未定、もしくは残念ながらご出席頂けない先生です。

東志会40周年

うれしい「出会い」

本田 浄道 (昭和四十二～四十七)

私の都立高校教員生活は、東志会第一期生が三年生に進級した昭和四十二年四月に、新設三年目の東高校に転勤し、その後六年間奉職して合計二十年間でした。私は前任校(小石川高校)の校長から、この新設校への転勤を打診されたとき、何のためらいもなく山手から下町に転勤することを受け入れました。というのも、母の実家が国技館の隣の回向院で、その住職夫妻(つまり祖父父母)に「かわいかられ泊まりに行くことも多く、下町の人情味あふれる人々や町の雰囲気」に心ひかれる思い出が多いからでしょう。

赴任先の東高校の新校舎は、当時の都立高校では最新、最高の設備を整えた学校でした。私の前任校が正七年創立ですから、すべてが対照的な学校と言えます。

前任校では校風も伝統もすでに定着しています。職員会議にしても「例年通り」の一言で万事が支障無く運営されるといふ学校でしたから、社会科一年生として着任した私には気楽な職場です。担当教科の準備と部活(バスケット部)の付き添い、同時に自己研修(漢文・中国語)に十分な時間がありました。その環境の中で十四年間も勤務していたので、異動の対象になったのでしよう。その学校で一期成田先生とは国語科の同僚でした。先生が管理職として転出されてからは、長いことお会いする機会もありませんでした。先生が昭和四十年、この新設東高校に着任され、国語科に漢文担当の教員をと考えて私を指名されたと、あとで知りました。

東高での私の思い出は十周年の記念誌「ひがし」に寄稿しましたので重複を避けます。私の在職期間はわずか六年間でしたが、当時の卒業生で今でも年賀状の交流が続いている人もいて、晩年の私に元氣を与えてくれています。ありがたいことです。「出会い」の大切さ、尊さを改めて痛感しています。

初期卒業生の皆さんは、社会人となって三十数年、もう年齢を考えれば健康に要注意の世代ですね。健康に過信は禁物。どうか健康に留意して、与えられた人生を大切に過ごして下さい。諸君との「出会い」を心からうれしく思っています。

東志会四十周年、おめでとう。会の弥栄を祈り、会員諸君のさらなる発展と御多幸を祈っています。再見！

昨年が無職。陶芸のろくろを回し、畠をいじり、玉川上水を歩いています。

★楠原 隆 (S.42～S.46)

幹事の皆様、ご苦労様です。

思い出すのも、夢に見るのも東高です。お目にかかる卒業生の方を楽しみにしております。

◎渡邊 敦子 (S.63～H.1)

平成20年3月末に東高校を定年退職し、現在は早稲田大学の教員就職指導室で教職を目指す学生の相談や指導にあたっています。

◎北爪 幸夫 (H.18～H.20)

現在都立新宿高校に勤務。2年生の担任。これが最後の担任となります。3月に定年退職です。

◎阿部 清 (S.51～S.61)

東高校を退職して20年近く経ちました。

現在は都内の小学校へ発達障害児の学習支援の指導員として勤務するが、自宅を開放し子育てに悩む母親や、障害を持つ子供の親子を対象に、パン・ケーキ・バス・和菓子の手作り教室を開催しています。

★三谷(小宮) 弘美 (S.63～H.1)

仕事をやめて、ゆっくりしているはずが、日々あわただしく過ぎていきます。巷のニュースに接する度に、人間ってなんなんだろうと思ひこむ今日この頃です。

★西山 せつ子 (S.61～H.8)

ご連絡ありがとうございました。

主人 若林一也は平成16年11月21日、87歳にて亡くなりました。生前お世話になった皆様に宜しくお伝え下さい。

(※奥様より返信頂きました)

★若林 一也 (S.44～S.48)

他にも、日高富久先生、洪江玲子先生、神田護先生、岩脇国夫先生、森本とも先生、斉藤正文先生もご出席予定です。

また、今回ご連絡が取れなかった先生方にも、今後お声をかけていきます。

お手数ですが、左記ハガキを切り取り、ご投函下さい。尚、郵送料は掛かりません。そのままご投函下さい。

※会費は、同封の「振り込み用紙」にてお振り込み下さい。尚、会費は、当日会場でもお支払い頂けます。

当日参加大歓迎！

※事務処理の都合上、申し込み締め切り日を4月末日とさせていただきますが、申し込み締め切り日までに、当日の予定がわからない方も、**当日参加は大歓迎！**です。締め切り日を過ぎてから参加可能になりましたら、このハガキをご投函いただくか、該当幹事もしくは事務局までご連絡下さい。

メッセージ

・ご連絡先 (TEL)

・ご住所

・卒業期

・ご氏名

★ご欠席の場合

東志会総会議事に関して委任

□します □しません

□ご出席 □ご欠席

期(昭・平 年3月卒)またはS・H 年 月 日生

(旧姓)

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

〒

郵便はがき

1 3 5 8 7 9 0

200

200

料金受取人払郵便

深川支店

承 認

6584

差出有効期限

平成21年12月

31日まで

東京都江東区森下3-6-9

東京都江東区森下3-6-9

トニヤコーポ301号

都立東高等学校同窓会

東志会事務局(沖野)宛

転出教職員

平成19年

数学 石山 勝一
物理 福田 泰正
英語 佐野 俊子
英語 小川 志
事務 小島 英夫
事務 子安 喜隆
技能 塩崎 美津江
嘱託 大越 忠也

平成20年

校長 北爪 幸夫
国語 中島 義彦
世界史 森 義輝
数学 加地 孝成
生物 山下 弘之
英語 大谷 昌子
英語 西田 善三
保健 熊原 誠一
家庭 田辺 さえ
司書 原 恵子
政経 喜田 豊
事務 本田 三穂
技能 渡口 ひで子
事務 梶 利行
事務 浅野 道代

平成21年

養護 原 よし子
国語 山口 博士
国語 相澤 和雄
数学 野田 友也
家庭 赤羽 孝子
国家語 加藤 光恵

平成18年度
会報寄付金賛助者
ご芳名

(敬称略)

高1 昭43 加藤 加藤恵利子
高2 昭44 山口 利光
高3 昭45 松崎 内乃理子
高4 昭46 大川 九橋和枝
高5 昭47 小池 光永美恵子
高6 昭48 松田 山本昭子
高7 昭49 須賀 聖民
高8 昭50 伊東 幸男
高9 昭51 吉崎 昭美
高10 昭52 鈴木 吉川紀子
高11 昭53 佐伯 裕学
高12 昭54 菅原 老川智子
高13 昭55 矢沢 安雄
高14 昭56 猪瀬 茂美
高15 昭57 倉林 篤哉
高16 昭58 大越 康伸
高17 昭59 鈴木 鈴木奈穂美
高18 昭60 池田 雷太
高19 昭61 加藤 孝行
高20 昭62 茂木 洋子
高21 昭63 戸邊 聡子
高22 昭64 酒井 俊尚
高23 昭65 岩本 優子
高24 昭66 藤原 堀澤加奈子
高25 昭67 山田 圭助
高26 昭68 齊藤 昭仁
高27 昭69 星 早坂口
高28 昭70 関 井裕
高29 昭71 宇田 川加奈子
高30 昭72 西澤 雅夫
高31 昭73 上川 雅夫
高32 昭74 菅野 智子
高33 昭75 葛西 聖子
高34 昭76 佐藤 尚央
高35 昭77 金子 尚央
高36 昭78 田中 尚央
高37 昭79 金澤 尚央
高38 昭80 池田 尚央
高39 昭81 石岡 尚央
高40 昭82 池田 尚央
高41 昭83 石岡 尚央
高42 昭84 池田 尚央
高43 昭85 石岡 尚央
高44 昭86 池田 尚央
高45 昭87 石岡 尚央
高46 昭88 池田 尚央
高47 昭89 石岡 尚央
高48 昭90 池田 尚央
高49 昭91 石岡 尚央
高50 昭92 池田 尚央
高51 昭93 石岡 尚央
高52 昭94 池田 尚央
高53 昭95 石岡 尚央
高54 昭96 池田 尚央
高55 昭97 石岡 尚央
高56 昭98 池田 尚央
高57 昭99 石岡 尚央
高60 昭100 池田 尚央

平成19年度決算報告書

①一般会計の部

総収入	1,987,479	総支出	1,473,050	残高	514,429
-----	-----------	-----	-----------	----	---------

☆収入の部

項目	予算額	決算額	摘要
繰越金	771,474	771,474	前年度繰越金
入会金	1,085,000	1,085,000	卒業生数217名×5,000円
雑収入	600	5,892	預金利息他
積立準備金より	83,000	125,113	公社債利金
計	1,940,074	1,987,479	

☆支出の部

項目	予算額	決算額	摘要
総会費	50,000	27,382	委員会
交通通信費	100,000	396,070	ホームページ管理、新規開設費含む
会議費	70,000	49,331	役員会及び委員会
諸会費	20,000	12,000	東会新年会費、他
慶弔費	30,000	15,000	入学、卒業祝金、他
行事費	40,000	35,410	文化祭参加費
印刷費	10,000	730	資料印刷、コピー代その他
会報作成費	600,000	0	21年に会報発送の為中止
名簿作成費	960,000	876,000	19年度卒業生分として
雑費	50,000	58,127	テニス部助成金弓道部他
予備費	10,074	3,000	2期生コンサート花代
計	1,940,074	1,473,050	

②基金の部

東京都公募公債 ￥10,000,000
定期預金 ￥10,154,499
クレディセゾン社債 ￥6,200,000

上記のとおり決算報告いたします。

平成20年6月12日

東志会会長代行 丹治 豊明
東志会会計 沖野 正子
東志会会計 丹治 豊明

監査の結果相違ないことを認めます。

平成20年6月12日

会計監査 清水 子恵
会計監査 相川 聡司

平成二〇年度 年間行事予定

三月	二月	一月	平成二〇年	一月	一〇月	九月	七月	六月	五月	四月	平成二〇年
二五 日	二四 日	九 日	六 日	五 日	二 三 日	一 〇 日	(未 定)	二 七 日	八 日	七 日	始 業 式
修了式	合唱コンクール	入学者選抜③	卒業式	東志会入会式	入学者選抜②	卒業認定会議	マラソン大会	入学者選抜①	入学式	始業式	
									遠足	生徒総会	
									体育祭	授業公開①	
									終業式	始業式	
									文化祭	文化祭	
									学校説明会	授業公開②	
									生徒会役員選挙	開校記念日	
									修学旅行(二年)	生徒総会	
									授業公開③	学校説明会	
									終業式	始業式	

東志会の基金について

東志会会長 丹 治 豊 明

平成19年度東志会会計報告のように東志会の保有基金として、東京都公募公債10,000,000円、定期預金10,154,499円、クレディセゾン社債6,200,000円があります。これらの基金は当初から大きな額ではありませんでした。

私が、初代会長山口氏より2代目会長を引き継いだ昭和46年頃の東志会の運営活動は、毎年の総会を行うことが中心でした。そんな中で、役員が更なる会の発展のために考えていたのが、名簿の発行と、僅かずつではあるが会費の預金による基金での活用でありました。その基金とは、初代会長や当時の同窓会担当の先生から伺った同窓会館建設の話です。それは、絵空事ではない現実のことでした。つまり、当時の母校食堂の屋根には、2階部分を建てるための基礎の柱があり、それが会館のためのものだったのです。

当然のことながら、私たち役員にとって、会館建設が大きな目標になりました。そのためには、基金をできるだけ蓄えることと考えました。そして、その基金の利息(当時の金利状況から)によって、会の運営資金も得ることができたのです。その後の東京都の意向で、学校敷地内に他団体の施設を建設することが禁止されてしまいました。

そして、会長が何代か交代するなかで、基金は運営活動の資金を得るためのものになっていました。更に会の活動も十分とはいえなかったことで、基金がある程度増加してきたのです。

ところが、約25年前に故橋本氏が第5代会長に就任し、役員を再編することで、改めて同窓会の活動も活発になってきたのです。総会では100名からの会員や当時の先生方も出席されるようになりました。更に、その後の会長たちによって、母校の文化祭への参加やクラブへの援助、名簿発行の復活や会報の継続的な発行、会員へのクラス会やOB会への援助等々。そして、IT時代を迎えての同窓会でのホームページ立ち上げなどが行われてきたことで、基金の増加は逆に伸び悩んできました。そこに、最近の経済の低迷や会員数の増加による高額な郵送料、名簿代金の高騰、低金利による運営資金の不足により、基金の取り崩しも行わなくてはいけなくなりつつあるのが現状なのです。

その中で、改めて基金をどうしていくべきかを役員で検討してきました。・会員への福利厚生として保養所を借りる・現役生(後輩)への奨学資金・同窓会館の建設(別敷地に)等々、どうすれば会や会員のためになるか、それなりに精一杯考えてきました。

また、基金について総会に提案したこともありましたが、やはりこれといった意見もいただくことができませんでした。

そこでこの機会に会員の皆様の考えを伺い、決めていきたいと思いますので、忌憚のないご意見を同封の葉書でお寄せください。

編集後記

「東志会会報」は予算の都合でこれまで二年に一度、しかもローテーションで回りを限定しながら発行してまいりました。前回の発行が平成十八年でしたので、本来であれば平成二十年の発行となる予定でしたが、一年間延期して今年度の発行となりました。今回は回期を限定せず全ての会員の方にお届けいたしております。もし会報が届かないといったお友達が周りにいらっしゃったら同封の情報記入用紙にてお知らせください。事務局より再発送させていただきます。

なお、来る六月二十八日には「東志会四十周年記念式典」がホテルルートイン東京東陽町にて開催されます。申込方法その他詳しい内容については会報の中に掲載しておりますので是非ご覧ください。お一人でも多くの方々のご参加を心待ちにいたしております。

● 同期会・クラブOB会へ朗報! ●

近年、同期会やクラブOB会が開催されていることをよく聞きます。そこで、同窓会事務局では、年1回の会合については援助していきたいと思います。もし、開催予定がありましたら、2期・沖野博久(03-3634-1248 レストラン・ノッチョリーノ)までご相談下さるか、下記ホームページをご覧ください。

東志会ホームページ

<http://www.tousikai.net/>